



大切なのは **ひと、自然、平和**
まつぎ

松崎 ゆり子



大野城市議会議員 便り「ゆりネット」 2019年 初春 Vol. 12



日の浦池公園からの初日

2019年 本年もよろしくお願いたします。

生活者の願いをもっと実現へ！ 二期目へ挑戦します

2015年4月、大野城市議会へ送っていただき早や4年になります。
ご支援に心から感謝申し上げます。

この間、すべての議会で一般質問を行いました。そして、中学校ランチ給食サービスの保護者負担の軽減、ひとり親家庭支援の充実、不登校セミナーの実施など、いくつもの提言が実現しました。

しかし課題はたくさんあります。中学校の完全給食・自校式、子ども達のフリースクールや居場所づくり、高齢者福祉の充実、外出支援など、生活者の願いを更に実現したいのです。

子ども支援、福祉と共生の大野城をめざして、二期目へ挑戦を決意しています。

皆様のご意見、ご指導、ご支援をどうぞよろしくお願いたします。

2019年、みなさまのご健勝とご多幸を、そして世界中で災害と紛争の少ない
よい年になりますようにお祈り申し上げます。



12月議会 留守家庭児童保育所（学童保育所）はどうなる？

●『留守家庭児童保育所の設置及び管理に関する条例』改正（賛成17、反対2で可決、ゆり子反対）

2019年度に学童保育所の事務の一部を、「市長から教育委員会に委任する」ために条例が改正されました。理由は、①小学校との連携の強化、②学童保育所、ランドセルクラブ、アンビシャス広場の早期の一体的な運営、で、20年度に3事業の一体的運営が計画されています。

ランドセルクラブは、教育委員会の所管で「学習習慣の定着と社会性を育てる体験」を目的に、週3日現在6校で実施中、19年度に全10校で実施予定です。

学童保育所は、子どもの権利条約を理念とする児童福祉法に基づき、夏休みなど子どもたちが学校以上の時間を過ごす「生活の場」として、市長（子ども部）の所管により全10校で運営されています。現時点では、3事業がどのように一体的運営がされるか、専有面積や指導員の人数など学童保育所の質が維持されるのか、疑問です。今後もしっかりとチェックしていきます。

補正予算 計1025.2万円減額（ゆり子賛成）

- 新) 危険なブロック塀等撤去費補助 308万円
 - 増) 胃がん胃内視鏡検査費 500万円(50歳以上の市民は2年に1回、内視鏡検査ができます！)
 - 新) コミュニティバス AED 整備(全7台) 196万円
 - 新) 保育施設図書購入 298万円
 - 新) 7月豪雨による保安林崩壊災害復旧 644万円
 - 減) 水城跡・牛頭須恵器窯跡整備 計9632.4万円
- * 本年度予算は 354億 1194.7万円になりました。

意見書 全会一致で採択されました

- ① 建設従事者のアスベスト被害の早期救済・解決を求める意見書
- ② 自転車の安全利用に関する対策強化と事故が発生した場合の被害者の補償を目的とした制度の創設を求める意見書

